

みなかみ

議会 だより

創刊号

平成17年11月15日
(2005年)

群馬県利根郡みなかみ町



合併新町 秋の表情

(右上：みずウォーク／湯原・水紀行館)
(左：農業まつり／月夜野・JA 月夜野支所)
(右下：豊楽まつり／須川・たくみの里)

みなかみ町議会 誕生!!

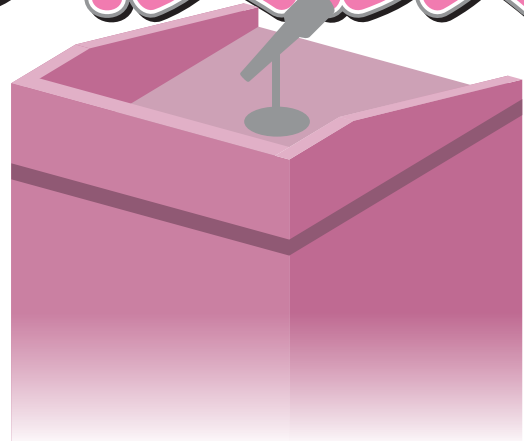
議員の横顔	2
議長・副議長あいさつ	5
委員会の構成	6

みなかみ町議会

議員の横顔

※議員の任期

『在任特例』を適用し、平成 18 年 4 月 30 日まで引き続き、新町の議会議員として在任します。



住民の皆様積極的に情報を公開し、行政と住民と一緒に「町づくり」が進められるよう、鋭意努力いたします。



4 牧 繪 敏 彦
(1期) 総文
S31.4.16 生
湯原 255-9

「町政は町民と共に」を基本理念とし、町民皆様の声を心に、新しい町づくりに真剣に取り組みます。



3 高 橋 市 郎
(1期) 総文
S31.9.25 生
上津 1795

「寶ホテル」を経営しています。町民が働きやすく住みやすい、魅力ある町にしていきたいです。



2 鈴 木 俊 夫
(1期) 産観
S33.8.25 生
湯原 720-1

「みなかみ町」のスタートに立ち会えたことを嬉しく思います。住みやすい町を創っていきましょう。



1 島 崎 栄 一
(1期) 産観
S42.1.28 生
布施 362-4

それぞれの生活ゾーンが計画提示されました。地域特性を活かした町になるよう努力します。



8 中 村 正
(1期) 総文
S25.11.18 生
上牧 2113

合併による諸問題の解決、「みなかみ町」の将来が、地域間の相乗効果を生む町づくりに努力します。



7 小 野 章 一
(1期) 産観
S26.6.29 生
石倉 1284

「総ての地域を暖かく!!」私の住所は「辺地」藤原。総ての地域に平等に、日陰の地域をつくらない。



6 林 喜 一
(1期) 産観
S28.1.31 生
藤原 2210

町の発展の基本は、住民同志の融和を図ることだと思います。二つのみなかみに向け努力していきます。



5 久 保 秀 雄
(1期) 厚生◎
S28.8.16 生
阿能川 148

今までどおり自分の信念を貫き、新町長へ町民の声を伝え、財政改革の舵取りを間違えないように助言をしていきたい。



12 大 川 浩 一
(1期) 総文◎
S16.10.5 生
上津 2054-1

観光と農業の「みなかみ町」は、温泉街の統一と農業の流通を特色に、新しい町づくりに努めたいと思います。



11 河 合 幸 雄
(1期) 総文
S21.8.23 生
湯原 670

紆余曲折を経ての出発です。さもあれ賽は投げられました。臨もうではありませんか。裂帛の気合で。



10 鈴 木 幸 久
(1期) 厚生
S24.8.12 生
湯原 795-1

子供や高齢者の立場で物事を見て考え、議会で発言していく議員でありたいと思っています。



9 安 達 澄
(1期) 厚生
S25.1.24 生
東峰 326

13



森下 直
 (1期) 産観◎
 S14.8.3 生
 後閑 1165-2

新町「みなかみ町」誕生にともない、地域の課題に真剣に立ち向かい、地域性豊かな町を実現するため働きます。

14



中里 英夫
 (1期) 厚生
 S12.1.9 生
 谷川 522-5

大自然を生かした観光・農業・商業の振興、「合併してよかった」と言える町づくりに努力します。

15



松井田均三郎
 (1期) 厚生
 S11.12.12 生
 下牧 933

新町「みなかみ町」に対して、公正公平の理念に基づき、町民皆様の声を町政に反映させるよう努力します。

16



原澤好治
 (1期) 厚生
 S10.8.16 生
 月夜野 555

公平公正。住民の声を反映させ、明るく住み良い「みなかみ町」発展のため、一生懸命努力します。

17



根津公安
 (2期) 総文
 S35.2.5 生
 月夜野 262

「幸福への選択」この新町への選択が正しいと感じ、未来に生きる子供達に引継いでいきたい。

18



速水一浩
 (2期) 総文
 S30.7.10 生
 湯原 9-1

新町「みなかみ町」の可能性は無限大です。皆さんと共に「住んでよかった」と思える町づくりに邁進します。

19



馬場春夫
 (2期) 厚生◎
 S22.3.12 生
 師 249

特色ある個性を持った三町村。大きく一つになることにより、いっそう魅力ある町となるよう努力します。

20



山岸 勝
 (2期) 総文
 S15.8.12 生
 須川 472-2

福祉・教育の環境整備と、基幹産業の振興を促進し、活力ある町づくりに努力します。

21



本多秀偉
 (2期) 総文
 S15.4.10 生
 東峰 100

「みなかみ町」が誕生。住民の福祉を基本に、明日に夢の持てる元氣の出る「新しい町づくり」に頑張ります。

22



今井 肇
 (2期) 厚生
 S13.10.20 生
 上牧 3168

新町に向け限らない前進を願いつつ、「合併してよかった」と子や孫から言われるような町づくりに努めたい。

23



傳田創司
 (2期) 産観◎
 S12.5.30 生
 小仁田 524-1

自主財源と経費のバランスを考え、自治体経営の健全化を目指し、住む人々が良かったと感じられる町づくりに努めます。

24



石田武男
 (2期) 産観
 S3.4.21 生
 月夜野 2192

観光と農業の調和の取れた環境に優しい町づくりに、また教育・福祉の向上に努力いたします。

25



松井秀明
 (3期) 総文
 S29.1.9 生
 相俣 952

地域資源を活用し、住んで良かった、住んでみたいまちづくりを実現したい。

26



番場正吉
 (3期) 産観
 S27.1.16 生
 後閑 2298

新町「みなかみ町」の骨格作りと財政の健全化に、全力で努力したいと思えます。

27



西田美江
 (3期) 総文
 S26.3.1 生
 須川 333

男女共同参画を機軸に据えて、少子高齢化対策、教育・福祉・環境問題に、女性の立場から取り組みます。

28



小野登美司
 (3期) 産観
 S25.1.6 生
 石倉 1273

「みなかみ町」の誕生により、利根川の源流としての観光・農業・自然環境を生かした発展を望みます。

29



富澤 豊
 (3期) 総文◎
 S24.11.22 生
 羽場 2166

「みなかみ町」となり、財政のチエックを強化し素晴らしい町づくりに努めます。町民の安全のためにつくします。

30



林 多加志
 (3期) 産観
 S19.9.23 生
 須川 1658

対等合併なので、全てが公平な運営に努める。学校施設等も、町全体のバランスを見て整備する。

31



林 由紀男
 (3期) 厚生
 S19.7.30 生
 上津 1347-1

地域住民が安心して住める社会を作るために、明るく住みよい新町を目指し、努力いたします。

32



竹内慎吉
 (3期) 産観
 S14.10.20 生
 湯桧曾 77-3

新生「みなかみ町」の福祉対策・地域の振興に努め、町勢の発展に微力を傾注したいと思います。



33
持谷順一郎
(3期) 産観
S14.1.28 生
猿ヶ京温泉1175

地産地消、地域循環型の経済の推進、観光地の活性化対策、少子高齢化、若者の定住化に努めたい。



34
木村光一
(3期) 総文
S9.2.8 生
小日向 326

会社に22年、故郷水上に帰り26年、会社時代の人間関係が、大きな財産となっています。



35
生方昭一
(3期) 厚生
S8.7.25 生
新巻 489

町村合併に伴い、任期は後七ヶ月。新町『みなかみ町』の発展のために、全力で頑張る覚悟でおります。



36
高橋忠夫
(3期) 厚生
S5.10.30 生
永井 434

高齢化社会の到来に備え、行政に力をつけて、地域の発展と福祉サービスの向上を目標に努力します。



37
神保啓光
(3期) 総文
S3.11.13 生
入須川 2253

「総ては人が創る」長岡藩『米百俵』の精神で『人づくり』にあたりたい。みなかみ町の未来のために。



38
戸田宣男
(4期) 厚生
S20.7.19 生
布施 443-5

合併や時代の潮流を視点に、行政環境に変革を促し、住民が安全に安心して生活できる町づくり。



39
倉澤長男
(4期) 産観
S10.10.18 生
月夜野 2273

平成の大合併時代、町づくりの原点は人づくり・家づくりです。観光農業体験型事業に向かい、団塊の世代の人達の発信基地に。



40
小崎洋一郎
(4期) 総文
S9.12.12 生
小日向1071-2

《自治体の使命》前職は教員。地方自治体は、住民の暮らしや福祉を前進させるために存在すると思っています。



41
高橋光夫
(4期) 厚生
S8.1.14 生
下牧 584-2

住民の暮らしや福祉、健康を支えて行くのが自治体本来の使命。この立場で皆さんと力を合わせて頑張ります。



42
大坪 進
(6期) 産観
S15.8.5 生
新巻 1225

「勝ち組」「負け組」の格差社会が、殺伐とした世の中を生み出しています。優しさと豊かさを実感できる希望ある郷土を目指します。



43
眞庭幸男
(6期) 厚生
S12.12.19 生
大穴 131-5

昭和58年、住民の立場に立った行政を志して議会に参画し今日を迎え、合併を期に心新たに住民福祉の向上に尽くしたい。



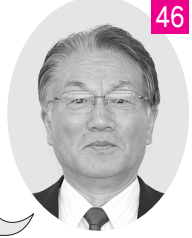
44
高倉 健
(6期) 産観
S10.6.7 生
湯原 802

新生『みなかみ町』の産業の振興と住民福祉の向上、そして住み良い町づくりのために、任期いっぱい頑張ります。



45
阿部源三
(6期) 厚生
S10.4.15 生
眞庭 199

46人の心一つに、持てる力を全て傾注し、大道に徹し、新生『みなかみ町』の百年の礎を築かなければならない。



46
増田宗利
(4期) 総文
S13.2.11 生
後閑 133-1

新町に向けて地域の特性を活かし、個性豊かな活力ある地域社会の形成と、豊かで快適な住民生活を実現したい。



議会事務局

新議会のスタッフです。よろしくお願ひします。

- (局長) 矢野 義夫
- (庶務兼議事係長) 内田 保
- 澤浦 厚子
- 深代 和恵

議長・副議長あいさつ



議長 増田宗利

このたび、みなかみ町議会議長に就任いたしました。改めてその責務の重さに、身の引き締まる思いと使命感の重大さを痛感しております。

初心に還り、議会運営に全力で取り組んで参る所存であります。

新町『みなかみ町』の基本は、地域の自然や文化を守りつつ、全ての住民が誇りと愛着を持てる、魅力的で個性のある、心から「ふるさと」だと思える町づくりを実現することだと考えております。住民皆さんの恒久の福祉を向上させるには、幾多の問題が残されていますが、今私達ができるこ

とをよく考え、実行していけば、新町誕生の成果は、必ずや『みなかみ町』の住民福祉に寄与するところ大なるものがあると思信じます。

私達議会も、これらの諸問題に対して広い視野から取り組み、住民各位の協力のもとに、意欲的にその解決を図って行く所存であります。

『みなかみ町』は、個性ある美しい景観を持った自然に恵まれ、先人達が営々と築き上げてきた薫り高い文化に加えて、住民皆さんの優れた英知とためみないご努力があります。いつの時代でも、住み

よい社会をつくっていく道は様々な困難がありますが、この困難を乗り越えて行くことこそ、私達に課せられた責務であると存じます。

終わりに、新町誕生のためにご尽力いただきました先輩各位、住民皆様のご熱意とご協力を、深い敬意と謝意を表します。

住み良い町が建設促進されますことを期待するとともに、『みなかみ町議会』に一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。皆様のご多幸をお祈りし、議長就任のあいさつとします。



副議長 眞庭幸男

このたび、新生『みなかみ町』議会の副議長の要職に就任させていただきましたことになりました。

私といたしましては大変名譽なことであり、感激しているところであります。同時にまた、責任の重かつ大であることを痛感しております。

そのことは、旧町村の枠から合併により新たに守備範囲が広がり、従前の議長補佐の立場もおのずと重さを増すと考えられます。

もともと浅学非才な私でありますが、重責を与えられたこの上は、増田議長と共に、議会が公正かつ円滑に運営されます

よう、誠心誠意努力する所存であります。

議員各位はもとより、町民皆様の一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。副議長就任のあいさつとします。



議員一同
力を合わせ頑張ります。

みなかみ町議会 委員会の構成

◆議長 増田 宗利

◆副議長 眞庭 幸男

● 常任委員会

総務文教常任委員会	厚生常任委員会	産業観光常任委員会
◆委員長 富澤 豊	◆委員長 馬場 春夫	◆委員長 傳田 創司
◆副委員長 大川 浩一	◆副委員長 久保 秀雄	◆副委員長 森下 直
◆委員 高橋 市郎	◆委員 安達 澄	◆委員 島崎 栄一
牧繪 敏彦	鈴木 幸久	鈴木 俊夫
中村 正	中里 英夫	林 喜一
河合 幸雄	松井田均三郎	小野 章一
根津 公安	原澤 好治	石田 武男
速水 一浩	今井 肇	番場 正吉
山岸 勝	林 由紀男	小野登美司
本多 秀律	生方 昭一	林 多加志
松井 秀明	高橋 忠夫	竹内 慎吉
西田 美江	戸田 宣男	持谷順一郎
木村 光一	高橋 光夫	倉澤 長男
神保 啓光	眞庭 幸男	大坪 進
小崎洋一郎	阿部 源三	高倉 健
増田 宗利		

● 議会運営委員会

◆委員長 高橋 忠夫	◆副委員長 根津 公安
◆委員 速水 一浩	馬場 春夫
傳田 創司	番場 正吉
西田 美江	小野登美司
富澤 豊	木村 光一
倉澤 長男	小崎洋一郎

● 議会だより編集委員会

◆委員長 眞庭 幸男
◆副委員長 神保 啓光
◆委員 島崎 栄一
久保 秀雄
根津 公安
高橋 忠夫



眞庭記

『みなかみ議会だより』
第一号をお届けします。
議員は『在任特例法』
により、二年間の在任が
認められていますが、任
期を来年四月三十日まで
の七ヶ月としました。
第一回の臨時会は、お
互いに、なかなか名前と
顔が一致せず、だが真剣
に協議を重ね、円満のう
ちに組織ができました。
これからは一党一派に
偏することなく、ありの
ままの議会の姿を、町民
皆様にお届けしたいと思
います。
家庭で、職場で、話題
にさせていただき、ご意見
等いただけたらと思いま
す。
四十六人の議員、心を
一つにして、新町の発展
に頑張ります。

